

令和 7 年度第 3 海兵機動展開部隊との共同訓練 (アイアン・フィスト 26) について

令和 8 年 1 月
防 衛 省

令和7年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練 (アイアン・フィスト26)について

【演習の目的】

陸上自衛隊と日本に駐留する米海兵隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図ることを目的としております。

【演習の沿革】

- 本演習は、平成17年度から令和3年度までの間、米国キャンプ・ペンドルトンで米第1海兵機動展開部隊との共同訓練として実施されてきました。
- 令和4年度から、日本国内において米第3海兵機動展開部隊と訓練を実施しています。

【演習の実施場所及び期間】

(※) 本期間の前後に、それぞれ約1週間で準備・撤収を実施します。

令和8年2月11日(水)～3月9日(月)までの間、山口県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所及び期間における訓練の実施を計画しています。

- 山口県：2月11日(水)～3月7日(土) 岩国飛行場
- 佐賀県：2月11日(水)～3月7日(土) 目達原駐屯地
- 長崎県：2月21日(土)～25日(水)、3月2日(月)～7日(土) 相浦駐屯地、福江空港
2月11日(水)～25日(水)、3月2日(月)～7日(土) 福江島分屯基地着陸場
2月21日(土)～25日(水) 大村航空基地
- 熊本県：2月11日(水)～3月7日(土) 高遊原分屯地
- 宮崎県：2月11日(水)～2月13日(金)、21日(土)～25日(水)、3月2日(月)～5日(木) 霧島演習場
- 鹿児島県：2月11日(水)～2月13日(金)、21日(土)～25日(水)、3月2日(月)～5日(木) 霧島演習場
3月1日(日)～3月4日(水) 種子島(又は奄美大島(※奄美大島は予備地として設定))
- 沖縄県：2月14日(土)～3月9日(月) キャンプ・ハンセン、中部訓練場、金武ブルー・ビーチ訓練場、
金武レッド・ビーチ訓練場、久志クロッシング
2月17日(火)～3月9日(月) キャンプ・シュワブ(海域のみ)
2月17日(火)～3月7日(土) ホワイトビーチ
2月14日(土)～3月9日(月) キャンプ・コートニー
2月11日(水)～3月7日(土) 普天間基地
2月23日(月)～3月7日(土) 出砂島射爆撃場 ※日曜日を除く。
2月11日(水)～3月7日(土) 伊江島補助飛行場
2月11日(水)～3月7日(土) 那覇基地

【演習の内容】

- 日米共同での指揮機関訓練【キャンプ・ハンセン、キャンプ・コートニー】
- 航空機を用いた日米共同での統合火力誘導訓練【出砂島射爆撃場】
- 日米共同飛行
 - 【飛行：九州周辺空域】 【降着：岩国飛行場、目達原駐屯地、高遊原分屯地、霧島演習場】
- 日米共同による人員・物資の搭載・卸下訓練等【相浦駐屯地、大村航空基地、高遊原分屯地、霧島演習場】
- 陸自による人員・物資の搭載・卸下訓練等
 - 【福江空港、福江島分屯基地着陸場、相浦駐屯地、大村航空基地、霧島演習場】
- 着上陸訓練
 - ・ 海上機動（偵察用ボート、水陸両用車（AAV）、ホバークラフト（LCAC）及び護衛艦、輸送艦・揚陸艦）による日米共同での着上陸訓練【種子島又は奄美大島、金武ブルー・ビーチ訓練場、金武レッドビーチ訓練場、キャンプ・ハンセン（久志クロッシング）、キャンプ・シュワブ（海域のみ）】
 - ・ 空中機動による日米共同での着上陸訓練
 - 【種子島又は奄美大島、キャンプ・ハンセン（久志クロッシング含む）、キャンプ・シュワブ（海域のみ）及び金武ブルー・ビーチ訓練場】
- 着上陸した部隊による日米共同での陸上戦闘訓練【種子島又は奄美大島、キャンプ・ハンセン】
- 日米共同での小火器を用いた実弾射撃訓練及び爆破訓練【キャンプ・ハンセン】
- 日米共同での施設機材を使用した訓練、障害処理訓練、兵站・衛生訓練及び通信訓練
 - 【キャンプ・ハンセン、金武ブルー・ビーチ訓練場及び金武レッド・ビーチ訓練場】
- 日米共同での水際障害処理訓練、海自による機雷処理訓練
 - 【金武ブルー・ビーチ訓練場、金武レッド・ビーチ訓練場、ホワイトビーチ】
- 空挺降下訓練【伊江島補助飛行場】

訓練予定地域



霧島演習場の使用について

霧島演習場において、日米共同で、日米航空機の空中機動訓練（陸自単独訓練も含む。）による人員・物資の搭載・卸下訓練、離着陸訓練、燃料補給訓練等を実施する計画です。

【期 間】 令和8年2月11日（水）～2月13日（金）、21日（土）～25日（水）、3月2日（月）～5日（木）
（上記の期間の内5日間程度）

【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約250名（第1ヘリ団、西部方面航空隊、水陸機動団、V-22×12機程度、AH-64D×2機程度、OH-1×1機程度）

米 軍：米海兵隊 約50名（31MEU、MV-22×4機程度、CH-53×2機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度）

※ 人数・機数は、現時点で計画されているもの

訓練予定場所（霧島演習場）



【凡 例】



訓練使用地域

- 飛行は0800～2000の指定された時間を厳守します。
- 飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行します。

訓練イメージ



空中機動訓練



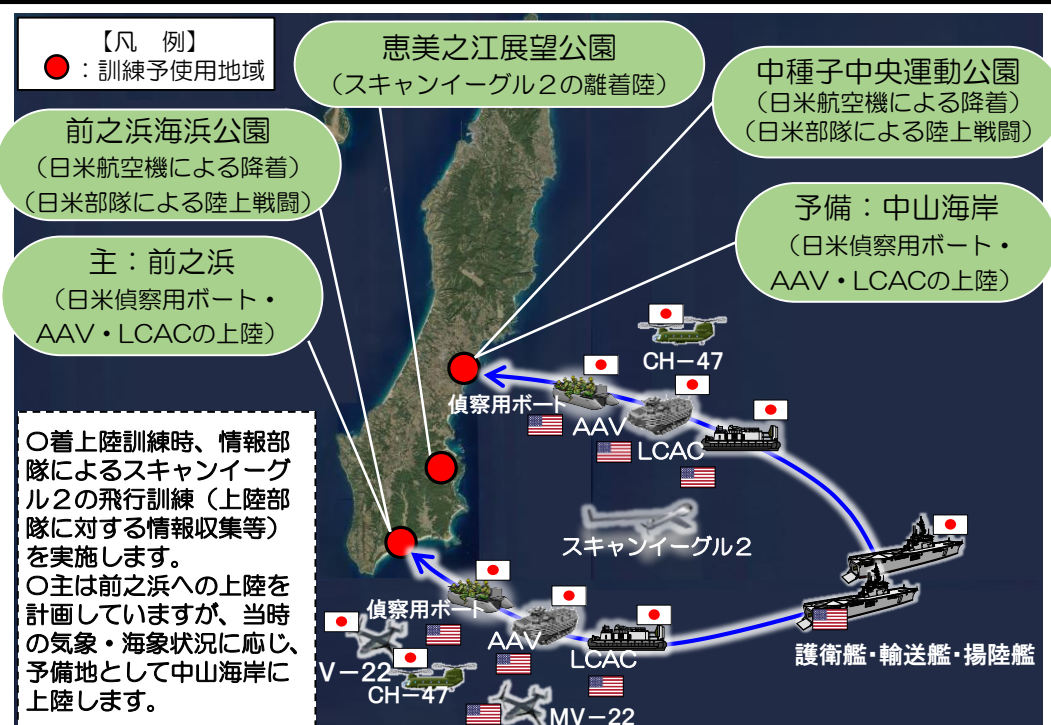
燃料補給訓練

種子島の使用について（1／2）

種子島及びその周辺海域において、日米共同の着上陸予行及び陸上戦闘訓練を実施します。
 なお、天候等の状況により、種子島での訓練を中止する場合があります。

【期 間】 令和8年3月1日（日）～3月4日（水）（左記期間の前後10日間程度をもって、準備・撤収を実施）
 【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約500名（水陸機動団、第1ヘリ団、第8師団、西方航空隊、AAV×10両程度、偵察用ボート×30艇程度、AH-64D×4機程度、OH-1×1機程度、CH-47×4機程度、V-22×3機程度、スキャンイーグル2×1機）
 海上自衛隊 約400名（護衛艦×1隻、輸送艦×1隻、LCAC×2艇程度 等）
 米 軍：米海兵隊 約700名（偵察用ボート×30艇程度、MV-22×4機程度、CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度 等）
 米海軍 約200名（揚陸艦×3隻程度、LCAC×2艇程度 等）
 ※ 事前訓練として、着陸地域の安全を確認するため、V-22及びCH-47が飛行予定
 ※ 人数・機数は、現時点で計画されているもの

使用予定場所



使用イメージ



偵察用ボートの航行



AAVの航行

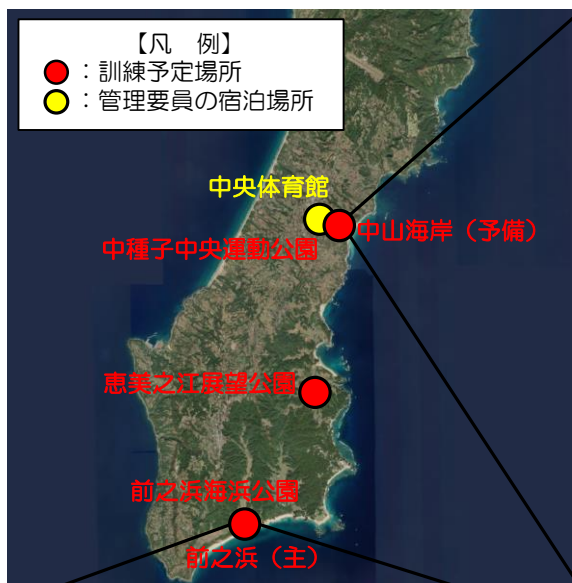


LCACの航行



航空機による降着

種子島の使用について（2／2）



訓練イメージ（中山海岸・中種子中央運動公園）



【中山海岸】

- 中山海岸に日米の偵察用ポート・AAV・LCACが上陸します。
- 上陸した日米の隊員は、軽火器（ゴム製）を携行し、海岸部分及び海岸西側の山林部に展開します。

【中種子中央運動公園】

- 中種子中央運動公園グラウンドに日米航空機（CH-47等）が降着します。（機数は調整中）
- 航空機の降着後、軽火器を携行した陸自隊員×50名程度及び米海兵隊隊員×50名程度が、航空機から降機し、同地で地域を確保する行動を訓練します。

訓練イメージ（前之浜・前之浜海浜公園）



【前之浜】

- 前之浜に日米の偵察用ポート・AAV・LCACが上陸します。
- 上陸した日米の隊員は、軽火器（ゴム製）を携行し、海岸部分及び海岸北西側の山林部に展開します。

【前之浜海浜公園】

- 前之浜海浜公園の広場に日米航空機（日：CH-47、V-22 米：MV-22）が1機ずつ【P】降着します。
- 航空機の降着後、軽火器を携行した陸自隊員×50名程度及び米海兵隊隊員×50名程度が、航空機から降機し、同地で地域を確保する行動を訓練します。

- 訓練を支援する管理要員（日：30名程度、米：確認中）が期間の前後10日間程度をもって、準備・撤収を実施します。（陸自管理要員は、中央体育館に宿泊させていただきます。）

- 本訓練間、弾薬の装填及び空包の使用予定はありません。

- 訓練間、中山海岸・中種子中央運動公園・前之浜海浜公園のトイレを日米の隊員が利用させていただきます。

- 訓練は夜間まで及ぶ可能性があります。

- 飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行します。

奄美大島の使用について（１／２）

奄美大島及びその周辺海域において、日米共同の着上陸予行及び陸上戦闘訓練を実施します。

なお、種子島での訓練が天候等の状況により実施できない場合、奄美大島で訓練を実施します。

【期 間】 令和8年3月1日（日）～3月4日（水）（左記期間の前後10日間程度をもって、準備・撤収を実施）
 【参加予定部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約500名（水陸機動団、第1ヘリ団、西方航空隊、AAV×10両程度、偵察用ポート×30艇程度、AH-64D×4機程度、OH-1×1機程度、CH-47×4機程度）
 海上自衛隊 約400名（護衛艦×1隻、輸送艦×1隻、LCAC×2艇程度 等）
 米 軍：米海兵隊 約700名（偵察用ポート×30艇程度、CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度等）
 米海軍 約200名（揚陸艦×3隻程度、LCAC×2艇程度 等）
 ※ 事前訓練として、着陸地域の安全を確認するため、CH-47・CH-53が飛行予定
 ※ 人数・機数は、現時点で計画されているもの

使用予定場所



使用イメージ



偵察用ポートの航行



AAVの航行

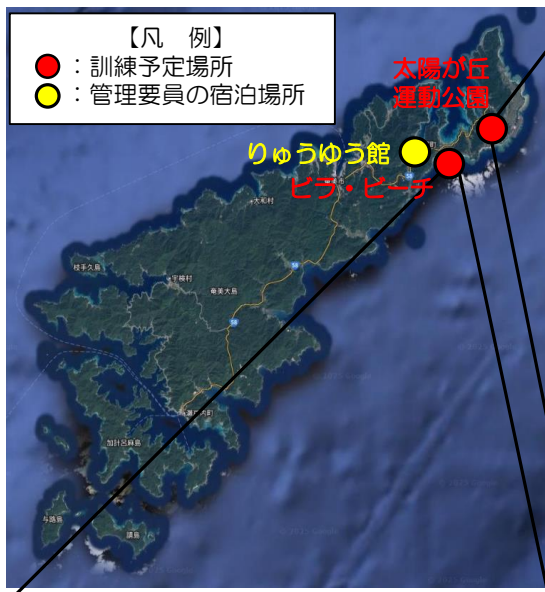


LCACの航行



航空機による降着

奄美大島の使用について（2／2）



訓練イメージ（太陽が丘運動公園）

- 太陽が丘運動公園グラウンドに日米航空機（日：CH-47 米：CH-53）が1機ずつ降着します。
- 航空機の降着後、軽火器を携行した陸自隊員×50名程度及び米海兵隊隊員×50名程度が、航空機から降機し、同地で地域を確保する行動を訓練します。
- 上記の間、弾薬の装填及び空包の使用予定はありません。

訓練イメージ（ビラ・ビーチ）

- ビラ・ビーチに日米の偵察用ポート・AAV・LCACが上陸します。
- 上陸した日米の隊員は、軽火器（ゴム製）を携行し、海岸部分に展開します。（公道等には進入しません。）
- 上記の間、弾薬の装填及び空包の使用予定はありません。
- 訓練間、管理要員等が、海岸、駐車場等に展開します。

- 訓練を支援する管理要員（日：30名程度、米：確認中）が期間の前後10日間程度をもって、準備・撤収を実施します。（陸自管理要員は、りゅうゆう館に宿泊させていただきます。）
- 訓練間、太陽が丘運動公園グラウンド内のトイレを日米の隊員が利用させていただきます。
- 訓練は夜間まで及ぶ可能性があります。
- 飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行します。